

令和8年度 研修・教育部会セミナー

肺がん治療の最前線

2026.10.17 SAT

14:00-15:40 (開場 13:30)

会場

神戸市教育会館

6階 大ホール

兵庫県神戸市中央区中山手通4-10-15

対象

医療関係者

会場での講演と同時にZoomを用いた
Webセミナー（ハイブリッド方式）で開催

受講無料

会場定員

75名

(Web参加は制限なし)

<申込先> 締切日 10月7日(水)

下記のURL、
又は二次元コードよりお申込みください。

Web参加の方には、
申込締切後にご登録いただいた
メールアドレスへZoomから
招待状をお送りします。



申込フォーム

<https://forms.gle/HieBwuGEHw8ow42f8>

座長

兵庫県立がんセンター
副院長兼呼吸器外科部長

西尾 渉

講演1 14:10~14:45

神戸低侵襲がん医療センター
副院長・呼吸器腫瘍内科主任部長

秦 明登

元気に長生きされている患者さんが増えています！
～劇的な進歩を遂げている肺がん薬物療法～

講演2 14:45~15:10

兵庫県立粒子線医療センター
診療部医長 松尾 圭朗

肺癌に対する放射線治療
～粒子線治療の位置づけと展望～

講演3 15:10~15:35

神戸大学医学部附属病院
呼吸器外科 講師 田根 慎也

「肺癌に対する外科治療戦略の現在地」

お問い合わせ

兵庫県がん診療連携協議会

☎ 078-929-1151 (代表)

兵庫県立がんセンター総務課内

✉ jimukyoku@hyogo-ganshinryo.jp

主催 兵庫県がん診療連携協議会

後援 兵庫県医師会 兵庫県看護協会

テーマ：肺がん治療の最前線

申込フォーム



日 時：2026年10月17日（土） 14：00～15：40

会 場：神戸市教育会館 6階 大ホール

座長 兵庫県立がんセンター 副院長兼呼吸器外科部長 西尾 渉

講演1：「元気に長生きされている患者さんが増えています！

～劇的な進歩を遂げている肺がん薬物療法～

神戸低侵襲がん医療センター 副院長・呼吸器腫瘍内科主任部長 秦 明登

この10～20年で肺がんの薬物療法は大きく進歩し、以前では考えられなかったような長期間にわたり元気な生活を送られている患者さんが増えています。

その背景には、遺伝子変異や標的蛋白のあるがん細胞を狙い撃ちにする「分子標的薬」や、患者さん自身の免疫の力を利用してがんと闘う「免疫療法」の登場があります。また、一人ひとりのがんの性質や体の状態に合わせて治療法を選択する「個別化医療」も進歩しています。

本講演では、肺がん薬物療法の最新の進歩をわかりやすく解説するとともに、実際にどのような患者さんが長く元気に過ごされているのか、最新の知見を交えながらご紹介します。

講演2：「肺癌に対する放射線治療 ～粒子線治療の位置づけと展望～」

兵庫県立粒子線医療センター 診療部医長 松尾 圭朗

肺癌とくにIII期肺癌に対する化学放射線治療は、PACIFIC試験の成果を皮切りに新規薬剤の併用・逐次治療に関する臨床試験が行われ、新たな潮流を迎えている。放射線治療に関しても、照射後の免疫チェックポイント阻害剤等の薬剤の使用を前提として、肺臓炎等の有害事象のリスクを低減させることが以前にも増して重要となっている。本講演では照射技術として従来の3DCRTからIMRTへの変遷を踏まえた上で、より先進的な治療としての粒子線治療の位置づけと展望について概説する。

講演3：「肺癌に対する外科治療戦略の現在地」

神戸大学医学部附属病院 呼吸器外科講師 田根 慎也

肺癌治療における手術の新展開

早期肺癌では、根治性を保ちながら呼吸機能温存を図る縮小手術の位置づけが大きく変わってきた。一方、進行肺癌では免疫療法の進歩により、術前免疫治療後手術という新たな選択肢が登場した。本講演では、両者の適応、治療成績の要点を整理し、あわせて両者に用いるロボット支援下手術の実際についても紹介する。